

宇城圏域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和7年度時点の取組進捗状況				今後の取組予定
					取組工程の進捗状況			令和7年度に取り組んだ具体的な内容	令和8年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・河川整備(河川浚渫)	市内河川	・土砂等の堆積によって流下能力が低下している河川について、緊急的に浚渫を実施することで排水機能の向上を図ります。				・緊急浚渫推進事業債を活用し、令和7年8月豪雨で流入した土砂も含め、市内12河川の浚渫工事を実施。	・緊急浚渫推進事業債を活用し、市内4河川の浚渫工事を実施予定。
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・河川整備(護岸整備)	市内河川	・河川護岸等の整備を行い、流下能力の向上を図ります。				・緊急自然災害防止対策事業債を活用し、市内5河川の改修工事を実施。	・緊急自然災害防止対策事業債を活用し、市内4河川の改修工事を実施予定。
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・海岸施設の整備(堤防・護岸)	網田漁港	網田漁港の背後は民家が密集しており、過去に甚大な高潮被害が発生しています。当地区には布田川断層帯が延びており、大規模な地震発生による地盤沈下が懸念されることから、防潮堤等が沈下した場合の高潮被害から住民の安全を確保するため、海岸施設の嵩上げ整備を計画しています。				網田漁港戸口陸開設置工事(東側・西側)を実施。 東側 N=1箇所 防潮堤嵩上げ L=23m 西側 N=1箇所 防潮堤嵩上げ L=16m ◆令和7年度で目標達成済	――
	内水氾濫対策	・排水機場の整備	網津地区	農地やその周辺地域の湛水被害防止のため、排水機場(排水ポンプ)を新設します。				機械設備・電気設備工事・土木工事(基礎・躯体工事)が完了。【R6年度】除塵及びゲート設備が完了。(R7.11月供用開始)【R7年度】	網津第二排水機場の非常用発電設備の新設工事を実施予定。 ・R8 実施設計 ・R9～10 非常用発電設備新設 N=1基
	内水氾濫対策	・雨水排水ポンプの整備・改修(築籠雨水ポンプ場)	市内河川	近年多発している集中豪雨に対応するため、雨水排水ポンプの整備・改修を行います。				雨水ポンプの原動機更新工事実施設計業務完了	雨水ポンプの原動機更新工事を実施(R8-R9)
	流域の雨水貯留機能の向上	・ため池の整備	花園地区	大雨時における下流域の浸水防止・軽減を図るための整備を行います。				実施設計が完了。	内浦池の整備工事を実施予定。 ・R8 堤体の整備 N=1式 ・R9～10 堤体及び取水施設の整備 N=1式
被害対象を減少させるための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況				今後の取組予定
					短期	中期	中長期	令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和6年度時点の取組進捗状況				今後の取組予定
					短期	中期	中長期	令和6年度に取り組んだ具体的な内容	令和7年度に取組予定の内容
	避難体制等の強化	・水害対応タイムラインの策定、運用	市内全域	・タイムラインが策定されていない防災関係機関において策定支援。 ・住民一人一人が主体的に避難活動を実施できるようにマイ・タイムラインの作成推進。				地域の防災研修の内容にマイタイムラインを取り上げ、各家庭での作成促進を図った。	昨年度に引き続き、地域の防災研修の内容にマイタイムラインを取り上げ、各家庭での作成促進を図る。
	土地の水災害リスク情報の充実	・ハザードマップの見直し	市内全域	平成31年(2019年)2月に作成した、「宇土市総合防災マップ」では、市内河川の潤川、網津川、網田川の浸水想定区域がL2に対応していなかったため、県のシミュレーション結果を基にハザードマップを更新します。				令和5年度で目標達成済	
	土地の水災害リスク情報の充実	・内水浸水想定区域図作成	市内一部	想定最大規模降雨が降った場合のシミュレーションを行い、その結果をもとに内水浸水想定区域図を作成(浦田排水区のみ)				令和6年度で目標達成済	
	避難体制等の強化	・自主防災組織連絡協議会の設立	市内7地区	自主防災組織を市内7地区ごとに連絡協議会を立ち上げることで、区単体の自主防災組織ではできなかった防災訓練や、地域への防災研修や啓発活動等の活動を推進します。				市内7地区中、3地区で連絡協議会が未設立であったため、設立に向けて、防災研修等啓発活動を実施した。	令和7年度に設立できなかった3地区の協議会立ち上げに向け、防災研修等啓発活動の充実及び協議を図る。
	避難体制等の強化	・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	市内全域	洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施を支援します。				訓練実施を促すこと以外に、訓練を通して気づいた修正・改善点を踏まえ避難確保計画の見直し等を支援した。	昨年度に引き続き、訓練を通して避難確保計画の内容に基づく訓練に対する支援を行う。
	土地の水災害リスク情報の充実	・大雨前の事前放流の連携	市内全域	・大雨が予想される場合には、事前に農業用ため池や排水機場の導水路及び河川等の水位を下げるなど、浸水被害防止のため、地元や土地改良区等と連携を図っています。				大雨前に事前放流を行った結果、浸水被害の軽減が図られた。ため池ハザードマップを作成し、HP等に掲載して地域住民に広く周知した。また、事前放流の取組拡大を目指し、ため池管理者に対して事前放流や低水管理の周知に努めた。	浸水被害の軽減効果が図れるため、今後も継続して実施予定。事前放流の取組拡大を目指し、引き続き、ため池管理者に対して事前放流や低水管理の周知に努める。
土地の水災害リスク情報の充実	・河川カメラの活用(周知)	市内河川	・大雨時の近隣河川の確認や自主的避難の判断の目安とするため、宇土市内に設置されている河川監視カメラの撮影画像をインターネット上に公開しています。				市のホームページに避難の判断材料として河川監視カメラの画像を掲載。	市のホームページ及び広報紙で、避難の判断材料としての河川監視カメラの活用を周知する。 新たに河川監視カメラの設置が必要な箇所がないか調査し、設置について検討する。	

宇城市									
宇城圏域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】									
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和7年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和7年度に取り組んだ具体的な内容	令和8年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
	内水氾濫対策	・雨水排水ポンプの整備(曲野雨水ポンプ場)	明神川水系	近年多発している集中豪雨に対応し、地域住民の安全安心な暮らしを確保すべく、雨水ポンプ場を新設して浸水被害軽減を図ります。	R7時点	目標		曲野地区に緊急自然災害防止対策事業債で仮設雨水ポンプを設置した。	雨水ポンプ設置予定位置の浸水状況の調査実施。
	内水氾濫対策	・雨水排水ポンプの整備(高良雨水ポンプ場)	大野川水系	近年多発している集中豪雨に対応し、地域住民の安全安心な暮らしを確保すべく、雨水ポンプ場を新設して浸水被害軽減を図ります。	R7時点		完了	工事完了。	令和7年度より本格稼働済みであり、効果検証など情報収集を引き続き行う。
	内水氾濫対策	・雨水排水ポンプの整備(大野雨水ポンプ場)	大野川水系	近年多発している集中豪雨に対応し、地域住民の安全安心な暮らしを確保すべく、雨水ポンプ場を新設して浸水被害軽減を図ります。	R7時点	目標		大野地区に緊急自然災害防止対策事業債で仮設雨水ポンプを設置した。	雨水ポンプ設置予定位置の浸水状況の調査実施。
	内水氾濫対策	・雨水排水ポンプの整備(大野雨水ポンプ場)	大野川水系	近年多発している集中豪雨に対応し、地域住民の安全安心な暮らしを確保すべく、雨水ポンプ場を新設して浸水被害軽減を図ります。	R7時点	目標		ポンプ場設置のための情報収集。	雨水ポンプ設置予定場所の測量、地質調査及びポンプ場の設計業務を実施予定。
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・拡幅(島地区普通河川)	大野川水系	河川の拡幅や護岸の整備により雨水を早くながす取り組みを行い、洪水や氾濫による被害の軽減を図ります。	R7時点	目標		一部区間の用地買収。	引き続きR8も用地交渉を行う。
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・拡幅(塚原川)	大野川水系	河川の拡幅や護岸の整備により雨水を早くながす取り組みを行い、洪水や氾濫による被害の軽減を図ります。	R7時点	目標		工事着手。	R8.5未完了予定。
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・拡幅(鳥嶋川)	浅川水系	河川の拡幅や護岸の整備により雨水を早くながす取り組みを行い、洪水や氾濫による被害の軽減を図ります。	R7時点	目標		工事着手。	R8.5未完了予定。
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・拡幅(東原川)	明神川水系	河川の拡幅や護岸の整備により雨水を早くながす取り組みを行い、洪水や氾濫による被害の軽減を図ります。	R7完了		完了	工事完了。	-
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・拡幅(西原川)	浅川水系	河川の拡幅や護岸の整備により雨水を早くながす取り組みを行い、洪水や氾濫による被害の軽減を図ります。	R7完了		完了	工事完了。	-
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・拡幅(小曾部川)	大野川水系	河川の拡幅や護岸の整備により雨水を早くながす取り組みを行い、洪水や氾濫による被害の軽減を図ります。		目標		-	R8工事着手予定。
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・河道掘削、底張り整備(大野前田川)	大野川水系	水草の繁茂により近接の排水機場運転に支障を来しているとともに、流加能力が確保出来ていないため底張コンクリートを実施する。		目標		-	R8工事着手予定。
	流域の雨水貯留機能の向上	・調整池の掘削、底張り整備(鳥越溜池)	大野川水系	調整池の整備により雨水を貯留する取り組みを行い、洪水や氾濫による被害の軽減を図ります。	R7時点		完了	工事完了。	-
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・浚渫(桂原川)	桂原川水系	河川の定期的な浚渫により雨水を早くながす取り組みを行い、洪水や氾濫による被害の軽減を図ります。	R7時点		完了	工事完了。	-
被害対象を減少させるための対策	内水氾濫対策	・農業水利施設を活用した事前放流等の取組み	全域	ため池の事前放流の取組拡大を目指し、ため池管理者に対する事前放流や低水管理の周知に努めます。	R7時点	目標		新たに指定された防災重点ため池のハザードマップを作成している。また、事前放流の取組拡大を目指し、ため池管理者に対して事前放流や低水管理の周知に努めた。	新たに指定された防災重点ため池のハザードマップを作成し、市町村HP等に掲載して地域住民へ広く周知する。事前放流の取組拡大を目指し、引き続き、ため池管理者に対して事前放流や低水管理の周知に努める。
	流域の雨水貯留機能の向上	・ため池改良(2箇所)	大野川水系	大雨時における下流域浸水被害防止として、水を貯留・流量の調整を行い浸水被害を軽減するための整備を行います。	R7時点	目標		・ため池の調整池化整備及び下流排水路拡幅工事の発注。	ため池の調整池化整備及び下流排水路拡幅工事を実施中。
	流域の雨水貯留機能の向上	・一定規模の開発行為に対する指導要領策定(雨水貯留・浸透施設の設置基準などの検討)	-	一定規模の開発行為に伴って増加する雨水の河川への流出量を抑制するため、雨水貯留・浸透施設の設置基準等の指導要領を策定します。指導要領は「宇城市立地適正化計画」の防災指針に準じて検討を行います。	R7時点	目標		一定規模の開発行為に伴って増加する雨水の河川への流出量を抑制するため、雨水貯留・浸透施設の設置基準等の指導要領を策定する上で、基準となる「宇城市立地適正化計画」の防災指針をR4年度末策定。R7年度は当該指針に基づく雨水貯留・浸透施設の設置基準等の検討を行った。	策定した「宇城市立地適正化計画」の防災指針に基づき、引き続き雨水貯留・浸透施設の設置基準等の検討を行い、指導要領の策定に向けて取り組みます。
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和7年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和7年度に取り組んだ具体的な内容	令和8年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	・宇城市立地適正化計画の策定	-	立地適正化計画を策定し、防災指針に基づいた居住や都市機能の誘導により、コンパクトなまちづくりを行います。	R7時点			R2年度から策定に取り組んでいた「宇城市立地適正化計画」が、R4年度末に完成。	策定した「宇城市立地適正化計画」に基づき、それぞれの実現化方策の実施に向けて取り組みます。
	下水道施設の機能確保	・下水処理場の耐水化(松橋不知火浄水管理センター)	-	松橋不知火浄水管理センターを宇城市耐水化計画書に位置付け、施設の耐水化を図ります。	R7時点	目標		-	浸水深以下の開口部や貫通部の把握を行い、浸水防止対策を図る。
	土地の水災害リスク情報の充実	・内水ハザードマップの作成・公表	松橋・不知火地区	想定最大規模降雨が降った場合のシミュレーションを行い、その結果をもとに内水浸水想定区域図および内水ハザードマップを作成・公表します。	R7時点	目標		各行政施設での内水ハザードマップ置配や出水期前の情報配信	各行政施設での内水ハザードマップ置配や出水期前の情報配信
	土地の水災害リスク情報の充実	・ため池ハザードマップの作成・公表	宇城市全域	地域住民の防災意識の向上、ため池の防災対策や災害時における被害の未然防止、被害軽減を目的とした「ため池のハザードマップ」を作成し、市民へ配布及びWEB上で情報を公開します。	R7時点	目標		ため池ハザードマップのWEB公開 ため池ハザードマップの追加作成準備	新たに指定された防災重点農業用ため池(新堤C、袴田ため池(松橋町)、新つみ(不知火町)、畑中ため池(豊野町))のハザードマップを作成。防災重点農業用ため池へのハザードマップ看板作成・設置(R7継続) WEB公開をしている情報の更新
	土地の水災害リスク情報の充実	・ハザードマップの作成・公表	-	宇城市では、令和2年度までに水位周知河川のハザードマップを整備・周知し、令和3年の水防改正を受けて対象河川を拡大、令和4年度に全世帯へ冊子を配布した。さらに令和5年度から災害ポータルサイトを運用し、ハザードマップや避難所情報等をオンラインで確認できるよう整備した。今後は、市民へのさらなる周知と利用促進を図る。	R7時点	目標		令和5年度から宇城市災害ポータルサイトを運用開始し、パソコンおよびスマホからもハザードマップ及び避難所開設状況、被害情報が確認できるようになりました。ポータルサイトの利用方法については、宇城市広報誌や宇城市HP等で周知を行いました。	今後も様々な伝達手段を用いて、宇城市災害ポータルサイトの周知及び登録の推進を図り、住民全体に防災の意識付けと最新の情報提供を行っていきます。
避難体制等の強化	避難体制等の強化	・自主防災組織の活動の推進	-	宇城市の自主防災組織設置率は、およそ72％となっています。一方で、住民の高齢化や地区人口の減少から、自主防災組織を推進するのが難しい地区も増えています。宇城市としては、新たな未設置組織への働きかけと、既存の自主防災組織への活動支援や教育啓発活動の推進を計っていかねばならないと考えています。このような中、既存自主防災組織間での防災士有志による組織化もされており、宇城市も連携をとりながら、自助・共助の力の向上に一層取り組んでいきます。	R7時点	目標		自主防災組織結成の働きかけを行い、令和7年度は自主防災組織の結成は1件ありました。結成に向けて支援をしていく予定です。さらには未結成区域への働きかけも続けてすすめていきます。	既存の自主防災組織への活動支援や地区防災計画の作成など、防災への意識が活性化するように今後も推進していきます。
	避難体制等の強化	・防災士の養成	-	宇城市防災士会が令和4年度に発足し、市や地域の防災訓練、自主防災組織の活動支援、また、災害時要配慮者等の把握及び災害時の避難誘導計画の作成等、地域防災力の向上に貢献されています。宇城市としては、防災士会や自主防災組織と連携し、安心・安全で暮らしやすいと市民から思われるまちづくりを推進します。	R7時点	目標		「宇城市防災士会」は令和4年度に設立して、令和7年度は、宇城市総合防災訓練への参加や指導、助言等をお願いしております。また、要配慮者施設等からの講演依頼やUKI交通安全防災フェアで研修、講師等で活躍していただいております。	今後は、各自主防災組織への補助や要配慮者利用施設の訓練への助言など、更なる防災士の知識を生かした取り組みを強化していきたいと考えております。
	避難体制等の強化	・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	-	洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、避難確保計画の作成と避難訓練の実施を支援します。	R7時点	目標		宇城市における洪水浸水想定区域内に存在し市町村の地域防災計画に位置付けられた要配慮者利用施設において、全ての施設で避難確保計画の作成は完了しております。	今後も、要配慮者利用施設において、各施設の避難訓練の実施を支援し、実際の災害時に対応可能な体制を構築していきます。
	土地の水災害リスク情報の充実	・内水浸水想定区域図作成	市内一部	想定最大規模降雨が降った場合のシミュレーションを行い、その結果をもとに内水浸水想定区域図および内水ハザードマップを作成・公表します。	R7時点			令和3年度で目標達成	

宇城圏域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

R8.5.22更新

氾濫をできる だけ防 ぐ・減らす ための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和7年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和7年度に取り組んだ具体的な内容	令和8年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
	内水氾濫対策	・農業水利施設を活用した事前放流等の取組み	全域	ため池の事前放流の取組拡大を目指し、ため池管理者に対する事前放流や低水管理の周知に努めます。	R7時点	目標	令和4年度までに防災重点農業用ため池ハザードマップをすべて作成し、市町村HPに掲載して地域住民へ広く周知した。	事前放流の取組拡大を目指し、引き続き、ため池管理者に対する事前放流や低水管理の周知に努める。	
被害対象を 減少させる ための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和7年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和7年度に取り組んだ具体的な内容	令和8年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
被害の軽減、 早期復旧・復興 のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和7年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
					取組工程の進捗状況			令和7年度に取り組んだ具体的な内容	令和8年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期		
		防災マップづくり	防災マップを作成し、町内全戸に配布する。	町内全域	防災マップづくり	R5完了	目標	令和5年3月にリニューアルした防災マップが完成。令和5年5月に町内の全戸に配布済。（取組完了）引き続き、住民への周知に取り組みます。	（取組完了）
		WEB版ハザードマップ構築	WEB版ハザードマップを作成。	町内全域	WEB版ハザードマップ構築	R5完了	目標	令和5年3月にWEB版ハザードマップを作成が完成。令和5年4月からHPにて公開。（取組完了）引き続き、住民への周知に取り組みます。	—
		自主防災組織の活動の推進	自主防災組織主体の防災訓練の実施・各家庭でのマイタイムライン作成支援	町内全域	自主防災組織の活動の推進	R7時点	目標	毎年6月第1日曜日に美里町総合防災訓練を実施（参加20団体）。また、各地区を回り、各家庭を対象にマイタイムライン作成の説明会を実施中。令和8年3月時点で70地区の説明会を実施済み。	引き続き、美里町総合防災訓練、およびマイタイムライン作成説明会を実施
		防災士の育成	防災士資格取得の支援、防災士連絡協議会活動。	町内全域	防災士育成補助金制度を実施中。 防災士資格取得予定者数 7名（内 火の国ぼうさい塾の受講者数 5名）	R7時点	目標	訓練実施を促すこと以外に、訓練を通して気づいた修正・改善点を踏まえ避難確保計画の見直し等を支援した。	引き続き、防災士育成補助金制度に基づき防災士資格取得を支援する

国

宇城圏域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】

R7.5.21更新

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和7年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定	
	森林の整備・保全、治山施設の整備	森林の有する公益的機能の発揮に向けた間伐等の森林整備	圏域全体	森林の有する山地災害防止機能や水源涵養機能等の公益的機能の適切な発揮に向け、二級水系上流域の森林（国有林）を主体とし、間伐等の森林整備・保全を推進します。	取組工程の進捗状況			令和7年度に取り組んだ具体的な内容 令和8年度に取組予定の内容	
					短期	中期	中長期		
					R7時点	目標			
内水氾濫対策	・排水機場の新設	五丁川水系	地区内の排水能力を向上させるため、排水機場を新設し、農地の湛水被害の解消を図ります。	R7時点	目標		○五丁川第2排水機場建設の海岸堤防側の排水樋門工事（更新）を実施。	○五丁川第2排水機場建設の本体工事（敷地造成、下部工、ポンプ設備製作）を実施。	
内水氾濫対策	・排水機場の新設	大野川水系	地区内の排水能力を向上させるため、排水機場を新設し、農地の湛水被害の解消を図ります。	R7時点	目標		—	○豊崎排水機場建設に係る基本計画の検討。	
内水氾濫対策	・農業水利施設の整備	五丁川水系 大野川水系	地区内の排水能力を向上させるため、土水路をコンクリート製水路に整備します。	R7時点	目標		○亀松工区と出村・宇土割工区の農地約16haにおいて、ほ場整備（排水路整備）を実施。	○亀松工区と出村・宇土割工区の農地約13haにおいて、ほ場整備（排水路整備）を実施。	
被害対象を減少させるための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容					
					取組工程の進捗状況				
					短期	中期	中長期		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容					
					取組工程の進捗状況				
					短期	中期	中長期		

宇城圏域治水プロジェクト【流域治水対策内容のフォローアップ】										R8. 5. 22更新
	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和7年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定		
					取組工程の進捗状況				令和7年度に取り組んだ具体的な内容	令和8年度に取組予定の内容
					短期	中期	中長期			
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・河道掘削・樹木伐採	圏域全体	洪水の流下に支障となる河道内の雑木や堆積土砂を伐採・掘削し、氾濫防止を図ります。	R7時点		目標	・網津川、網田川、郡浦川、耕地川、八枚戸川、砂川において樹木伐採及び土砂掘削工事を実施し、浸水被害の軽減を図った。	・引き続き、網津川、網田川、砂川、八枚戸川、郡浦川、耕地川等で樹木伐採や河道掘削を実施します	
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・護岸整備、洪水調節施設の機能強化	網津川水系	河川整備（護岸整備）及び洪水調節施設の機能強化を行うことにより、洪水・高潮に対して浸水被害の解消を図ります。	R7時点		目標	・洪水調整施設の機能強化の検討を行った。 ・護岸整備工事を行った。	・治水対策の検討を進めます。 ・引き続き、護岸整備工事等を実施します。	
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・護岸整備、堤防整備、洪水調節施設の機能強化	網田川水系	河川整備（護岸・堤防整備）及び洪水調節施設の機能強化を行うことにより、洪水・高潮に対して浸水被害の解消を図ります。	R7時点		目標	—	・治水対策の検討を進めます。 ・引き続き、護岸整備工事等を実施します。	
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・護岸整備、堤防整備、橋梁架替、河道掘削	大野川水系	堤防整備、橋梁架替、河道内の掘削を行うことにより、洪水・高潮に対して浸水被害の解消を図ります。	R7時点		目標	・大野橋（明神川）の架替、河道内の掘削を行い、洪水・高潮に対して浸水被害の解消を図った。	・大野橋上下流の取付道路の工事及び大野橋下流左岸側護岸の工事を引き続き実施します。 ・薩摩橋（市道橋）の架替えに向け、詳細設計を行います。 ・大野川、浅川の河道掘削を引き続き実施します。	
	河道掘削、樹木伐採、護岸整備、橋梁架替等	・排水施設の整備、護岸整備、堰改築	五丁川水系	河川整備（護岸・堤防整備、排水施設の整備、堰の改築）を行うことにより、洪水・高潮に対して浸水被害の解消を図ります。	R7時点		目標	・五丁川及び新耕地川では堰改築工事、今新地川では河道改修に係る用地買収を進め、浸水被害の軽減を図った。	・五丁川、新耕地川の堰改築工事を進めます。 ・今新地川の河道改修工事を進めます。	
	既存ダムの洪水調節機能の強化	・事前放流（石打ダム）	波多川水系	多目的ダムである石打ダムにおいて、上水道の利用目的でダムに貯められている水の一部を利用して、洪水直前に前もってダムの貯水位を下げる「事前放流」を行い、洪水被害の防止・軽減を図ります。	R7時点		目標	・洪水直前に前もってダムの貯水位を下げる「事前放流」を行い、洪水被害の防止・軽減を図った。	・下流域の安全確保のうえ、引き続き事前放流を行います。	
	既存ダムの洪水調節機能の強化	・石打ダムの管理施設の機能向上	波多川水系	気候変動による水災害の頻発化・激甚化に備え、防災・減災が主流となる安全・安心な社会を実現するため、管理施設（制御装置、警報設備等）の機能向上型の更新を実施し、浸水被害の軽減を図ります。	R7時点		目標	・ダム管理用制御処理設備（ダムコン）の更新設計を行った。	・ダム管理用制御処理設備（ダムコン）の更新工事に向け、調整を行います。 ・長寿命化計画に基づく設備更新等を実施します。	
	森林の整備・保全、治山施設の整備	・砂防堰堤整備	網田川水系	平成28年4月の熊本地震、6月の梅雨前線豪雨により土石流が発生した溪流に砂防設備を整備し、土石流による土砂災害の防止、ひいては河川への土砂流出の抑制を図ります。	R7時点		目標	・中登川の用地買収、管理用道路工事、溪流保全工事を行った。 ・宮の前川の用地買収を行った。	・中登川の用地買収、管理用道路工事、溪流保全工事を実施します。 ・宮の前川の用地買収、管理用道路工事を実施します。	
	森林の整備・保全、治山施設の整備	・砂防堰堤整備	砂川水系	令和7年8月豪雨により土石流が発生した溪流に砂防設備を整備し、土石流による土砂災害の防止、ひいては河川への土砂流出の抑制を図ります。	R7時点		目標	・砂防堰堤の整備に向けて、溪流調査、測量設計、地質調査及び用地測量を行った。	・砂防堰堤整備完了までの対策として、土石流監視センサーを設置します。 ・用地買収を行い、工事用道路設置工事、砂防堰堤工事を実施します。	
	内水氾濫対策	・排水機場の整備（改築）	圏域全体		R7時点		目標	・整備中（改築）の排水機場について、工事を実施。	・引き続き計画的に排水機場整備（改築）を進め、早期の完成を目指す。	
	内水氾濫対策	・排水機場の整備（改築）（益南地区（排水機場））	砂川水系	農地やその周辺地域の湛水被害防止のため、老朽化した排水機場の更新及び施設の自動化、浸水対策を実施します。	R7時点		目標	・令和6年度までにポンプ設備、電気設備、除塵設備の工事が完了。 ・令和7年度から新設設備による排水機場の可動開始。	・ゲート修繕を実施して工事を完了します。	
	内水氾濫対策	・排水機場の整備（改築）（亀松地区（排水機場））	大野川水系	農地やその周辺地域の湛水被害防止のため、老朽化した排水機場の更新及び施設の自動化、浸水対策を実施します。	R6時点		完了	—	—	
	内水氾濫対策	・排水機場の整備（改築）（砂川地区（排水機場））	砂川水系	農地やその周辺地域の湛水被害防止のため、老朽化した排水機場の更新及び施設の自動化、浸水対策を実施します。	R7時点		目標	・排水機場下部工事、ポンプ設備製作、電気設備製作を実施。	・排水機場下部工事、ポンプ設備製作据付、電気設備製作据付を継続実施。 ・除塵設備工他を発注し、令和11年4月の供用開始を目指す。	
	内水氾濫対策	・排水機場の整備（改築）（豊川中央地区（排水機場））	五丁川水系	農地やその周辺地域の湛水被害防止のため、老朽化した排水機場の更新及び施設の自動化、浸水対策を実施します。	R6時点		完了	—	—	
	流域の雨水貯留機能の向上	・水田の貯留機能の向上（田んぼダムの取組み等）	圏域全体	実証実験が開始された人吉・球磨地域において田んぼダムの効果検証を行い、課題を整理した上で、熊本県全域への展開を推進しています。	R7時点		目標	・令和7年度県営事業新規採択地区（水田の区画整理事業2地区：戸馳1期、湧井）の地元説明会において田んぼダムの説明を行い、専用の排水樹設置を設置することに了承を得た。	・田んぼダム専用の排水樹設置を含めた実施設計を行う。（区画整理事業2地区は、早ければ令和9年度に工事着手予定。）	
	森林の整備・保全、治山施設の整備	・治山施設の整備（山腹工「宇城市松橋町内田字七田」）	圏域全体	近年、頻発、激甚化している自然災害から地域住民の生命・財産を守るため、荒廃林地等を対象とした治山施設の整備を行います。	R7時点		目標	—	関係市と連携し必要な対策を講じる。	
	森林の整備・保全、治山施設の整備	・治山施設の整備（水路補修「宇城市不知火町永尾字山の口」）	圏域全体	近年、頻発、激甚化している自然災害から地域住民の生命・財産を守るため、既存治山施設の維持補修を行います。	R7時点		目標	—	関係市と連携し必要な対策を講じる。	
	森林の整備・保全、治山施設の整備	・保安林整備	圏域全体	近年、頻発、激甚化している自然災害から地域住民の生命・財産を守るため、荒廃林地等を対象とした植栽・本数調整伐等の保安林整備を実施します。	R7時点		目標	—	関係市と連携し必要な対策を講じる。	
	気候変動を踏まえた確率降雨強度の見直し	・気候変動を踏まえた確率降雨強度の見直し	圏域全体	昨今の地球温暖化等の気候変動を踏まえ、側溝等の排水施設の設計や開発に伴う調整池の設置における容量に係る構造基準として、計画規模に対応した計画降雨量の設定に用いる確率降雨強度式の見直しを行う。			目標	—	・必要な検討を実施します。	
被害対象を減少させるための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和7年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定		
					取組工程の進捗状況			令和7年度に取り組んだ具体的な内容		
					短期	中期	中長期	令和8年度に取組予定の内容		
	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	・土砂災害警戒区域等の指定	圏域全体	住民の生命を守るため、土砂災害が発生する恐れがある土地の区域を指定しています。	R7時点		目標	・高精度地形図等を用いた最新の地形状況の確認結果や、土地利用状況の変化を踏まえた、区域の見直し（2巡目指定）に着手（R7は51箇所の基礎調査を実施） ・砂防関係施設の整備等を踏まえた既指定箇所の見直し指定を実施（竹崎3急傾斜（宇城市松橋町））	最新の地形状況等を反映させた区域指定見直しについて、引き続き基礎調査及び区域指定手続きを実施します。	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	対策内容	実施内容	流域名	具体的な実施内容	令和7年度時点の取組進捗状況			今後の取組予定		
					取組工程の進捗状況			令和7年度に取り組んだ具体的な内容		
					短期	中期	中長期	令和8年度に取組予定の内容		
	土地の水災害リスク情報の充実	・河川情報やダム情報（水位計、河川カメラ）の充実	—	水位計等の河川情報やダム情報は防災情報くまもとや川の防災情報でリアルタイム情報を配信しています。 また、河川カメラ等の整備を実施し、住民の避難活動に資する河川情報の充実を図ります。	R7時点		目標	—	引き続き、住民への周知に取り組みます。	
	避難体制等の強化	・水位周知河川以外の河川における洪水浸水想定区域図の作成	—	水害リスク情報の空白地帯の解消に向けて、水位周知河川以外の中小河川においても、洪水浸水想定区域図を令和4年3月末までに作成します。 作成した洪水浸水想定区域図に関しては、県ホームページで公表し住民への周知を図ります。	R7時点		目標	—	引き続き、住民への情報公開を続けます。	